

東京都のへき地医療支援について(平成26年度実績、平成27年度実施状況及び平成28年度実施計画案)

東京都の取組

主な支援事業		平成26年度実績	平成27年度実施状況 (12月末現在)	平成28年度実施計画案 ※予算額は第1回定例議案に提出予定
I 医師等 確保支援	自治医科大学によるへき地勤務医師養成(昭和47年開始)	・東京都 1～6年在籍数 14人	・東京都 1～6年在籍数 14人	・東京都 1～6年在籍数 13人(見込み)
	自治医科大学卒業医師(義務年限内)の派遣・研修	・へき地町村派遣 10人 / 都立病院等研修 14人	・へき地町村派遣 11人 / 都立病院等研修 10人	・へき地町村派遣 11人 / 都立病院等研修 11人
	へき地勤務医師等確保事業(平成6年事業開始) (へき地医療対策協議会)	・事業協力病院 9病院 派遣人数(医師・歯科医師) 15人	・事業協力病院 9病院 派遣人数(医師・歯科医師) 15人	・事業協力病院 9病院 派遣人数(医師・歯科医師) 15人
	へき地診療所勤務医師等給与費補助	・実績額 197,704千円	・予算額 197,062千円	・予算額 197,062千円
	市町村公立病院等医師派遣事業補助(平成21年度開始)	・実績額 34,680千円	・予算額 43,200千円	・予算額 43,200千円
	東京都地域医療支援ドクター事業(平成21年度開始)	・採用 2名、支援勤務 5名、研修 3名	・採用 1名、支援勤務 4名、研修 3名	採用 3名(予定)、支援勤務 4名(予定)、研修 6名(予定)
	東京都地域医療医師奨学金 (特別貸与奨学金、一般貸与奨学金)	・特別貸与奨学金新規被貸与者 25名、 一般貸与奨学金新規被貸与者 6名	・特別貸与奨学金新規被貸与者 25名、 一般貸与奨学金新規被貸与者 8名	・特別貸与奨学金新規被貸与者 25名(予定)、 一般貸与奨学金新規被貸与者 同程度の規模で実施予定
	東京都へき地医療支援機構無料職業紹介事業所 (平成21年2月開設)	・求人登録31件、相談17件、求職登録16件、紹介28件、採用22件 登録医師数 38名	・求人登録19件、相談7件、求職登録12件、紹介14件、採用11件 登録医師数 38名	・広報媒体の活用、イベント参加等
	医療専門職定着支援研修(島しょ看護職員定着促進事業に統合)	・三宅村(12月)	(終了)	—
	島しょ看護職員定着促進事業(平成26年度開始)	・出張研修 1回(新島村)、ニーズ等調査	・出張研修 4回実施予定(八丈町、大島町、小笠原村、三宅村)	・出張研修 4回程度、短期代替看護職員派遣
【新規】島しょ地域医療従事者確保事業(平成28年度開始予定)	—	—	・予算額 1,730千円 現地見学会開催経費補助、広報活動	
II 体制 医療 支援 提供	へき地専門医療確保事業補助	・実績額 64,143千円(全へき地町村)	・予算額 65,955千円(全へき地町村)	・予算額 65,955千円
	人工透析医療運営事業補助	・実績額 2,000千円(三宅村)	・予算額 2,000千円(三宅村)	・予算額 4,000千円
	へき地産科医療機関運営費補助	・実績額 33,308千円(大島町、八丈町)	・予算額 45,620千円(大島町、八丈町)	・予算額 45,620千円
	小笠原村診療所運営事業補助	・実績額 16,126千円	・予算額 16,126千円	・予算額 16,126千円
	へき地診療所施設整備費補助	・該当整備案件なし	・該当整備案件なし	・該当整備案件なし
	へき地診療所医療機器整備費補助	・実績額 33,678千円(大島町、新島村、三宅村、御蔵島村)	・予算額 50,263千円(大島町、利島村、三宅村、御蔵島村、小笠原村)	・予算額 42,816千円
	へき地産科医療機関設備整備補助	・実績額 1,380千円(八丈町)	・該当整備案件なし	・予算額 1,252千円
	へき地患者輸送車運営費補助	・実績額 207千円(奥多摩町)	・予算額 525千円(奥多摩町)	・予算額 525千円
	市町村公立病院運営事業補助	・実績額 162,042千円(八丈町、奥多摩町)	・予算額 180,835千円(八丈町、奥多摩町)	・予算額 177,019千円
	市町村公立病院整備事業費償還補助	・実績額 46,230千円(八丈町)	・予算額 46,230千円(八丈町)	・予算額 46,230千円
III 診療 支援	へき地勤務医師不在時の代診医の派遣	・派遣要請件数 77件/ 対応件数 77件 派遣日数 488日(内訳: 義務年限医 159日、支援ドクター8日、都立・公社病院 147日、 協力病院 18日、登録医師 98日、支援機構専任担当官 58日)	・派遣要請件数 78件/ 対応件数 78件(予定含む) 派遣日数 427日(内訳: 義務年限医 153日、支援ドクター14日、都立・公社病院 124日、 協力病院 7日、登録医師 69日、支援機構専任担当官 60日)	・代診医派遣要請に対する充足率100%を維持する
	三者協定に基づく島しょ地域の救急患者搬送体制 ※東京消防庁夜間救急ヘリ運航開始(H13.4～) 大島、利島から順次開始 ※「東京型ドクターヘリ」名称での運用開始(H19.11.27～) (協定病院 現在11病院) ※広尾病院屋上ヘリポートの夜間運用開始(H20.3.1～) ※米軍施設赤坂プレスセンター平日のみ利用開始(H20.4.1～) ※米軍施設赤坂プレスセンター土日祝日利用開始(H24.1.1～) ※海上自衛隊厚木基地に急患搬送用医療資器材を寄託(H20.4.18～) ※東京都と海上自衛隊との協定締結(H20.7.1～)	・搬送人数 278人/ヘリ添乗医260人 ・実績額 4,105千円	・搬送人数 197人/ヘリ添乗医193人 ・予算額 5,940千円 ・東京消防庁航空隊江東航空センター新庁舎の運用開始(H27.11～) 大型ヘリが駐機可能となる(H28.1～)	・予算額 6,325千円
	ヘリコプター等添乗医師等確保事業補助	・実績額 4,068千円	・予算額 3,540千円	・予算額 3,540千円
	画像電送システムによる診療支援(H6～)平成22年度更新 (広尾病院と島しょ町村診療所等間に画像電送システムを設置) ※平成23年8月から小笠原海底光ファイバーケーブル敷設による 画像電送システム運用開始	・使用件数 1,051件 ・実績額 4,736千円 ・平成27年度システム更新に向けたPTの開催(6月)	・使用件数907件 ・予算額 6,918千円 ・更新検討委員会の開催(H27.5) ・新画像電送システムの運用開始(H27.12.15～)	・予算額 3,987千円
	医療用画像電送システム運営事業補助	・実績額 4,131千円	・予算額 6,105千円	・予算額 7,557千円
	IV 普及 啓発	へき地医療支援機構による広報活動 ・各種ホームページによる求人・求職情報の発信 ・各種イベント参加による情報発信	・へき地医療支援機構ホームページの更新(随時) ・へき地町村のホームページの開設及び充実支援 ・福祉保健局Twitter、へき地ネットによる医療従事者募集情報の発信 ・看護フェスタ、ふれあいナースバンク再就職相談会等へのブース出展	・同左
島しょ基幹病院による広報・研究活動		・第10回島しょ医療研究会の開催(H26.11.21)	・第11回島しょ医療研究会の開催(H27.11.20)	・研究会開催(予定)
へき地医療従事者の開拓		・東京都地域医療医師奨学生(特別貸与、一般貸与)に対する講義等の実施 講義2回、現地研修2回(新島村、三宅村) 特別貸与奨学生のへき地医療従事希望者を自治医大夏季学生研修に帯同(三宅村、御蔵島村)	・同左 ・都立病院による看護職員就職説明会に島しょブースを設置	・東京都地域医療医師奨学生(特別貸与、一般貸与)に対する講義等の実施 講義2回、現地研修2回 ・都立病院による看護職員就職説明会に島しょブースを設置